

## 式 辞

柔らかな陽光に新しい春を感じる佳き日に、大阪府立桃谷高等学校定時制課程多部制単位制Ⅰ・Ⅱ部の平成27年度入学式を、ご来賓並びに保護者の皆さまのご臨席を賜り、かくも盛大に挙行できますことは、私ども教職員にとりまして大きな喜びでございます。高いところからではございますが、厚くお礼を申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました159名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。また、保護者の皆さまにおかれましては、お子様のご入学、まことにおめでとうございます。教職員を代表いたしまして、心からお祝い申し上げます。

さて、本校は、昭和23年に創設された大阪府立大手前高等学校通信制教育部にその源を発します。そして、昭和41年に大手前高校の通信制課程が独立して現在の校地に移り、桃谷高校が誕生しました。従いまして、本校は来年、平成28年に創立50周年の大きな節目を迎えます。この間、社会の要請に応えながら、通信制課程とともに昼間定時制と夜間定時制を併置する時代を経て、平成17年に定時制をⅠ部Ⅱ部Ⅲ部に改編し現在に至っております。皆さんは、このような歴史ある桃谷高校に入学されました。本校は完全単位制ですので生徒により卒業までの期間は異なりますが、在学中は誇りをもって勉学に励んでほしいと思います。

さて、本日より高校生としての生活をスタートするみなさんに、三つのことをお願いしたいと思います。

まず一つ目は、学校に通う目的はもちろん勉強が第一ですが、プラスαの活動をしてほしいということです。クラブ活動や生徒会活動、また地域でのボランティア活動など、勉強以外の活動に参加することにより、日々の勉強や生活にメリハリが出来ます。また、メンバーシップすなわち、仲間意識が生まれ、社会に出たときに必要とされる力が自然と身につくようになります。可能な範囲で結構です、なにかのクラブなどに参加してみてもはどうでしょうか。先生方も君たちの入部を楽しみに待っています。

二つ目は、心のもち様を大切にしてほしいということです。中国の故事に、「心ここに在らざれば、視れども見えず、聴けども聞こえず、食らえども其の味を知らず」という章句があります。その意味は、「自分が関心のないことには、注意して見たつもりでも実は目にとまらず、注意して聞いたつもりでも実は耳に残らず、物を食べてもその味がわからない」ということです。五官の働きは、心が働いて初めてその用をなすことを説いています。もう少し広い意味で解釈すれば、私たちは心のもち様次第で、気持ちが前向きになったり、逆に後ろ向きになったりし、日々の生活も楽しくなったり、憂鬱に

なったりと、心のもち様で変わったりすることなのです。みなさんの中には、様々な事情で本校に入学してきた方もおられると思います。本校への入学を一つの節目として、心のもち様を大切に、新たな一歩を踏み出してほしいと願っています。

そして、三つ目は、ルールを守ろうということです。本校は完全単位制でありますので、制服はありませんし、登校時間も下校時間も生徒により違います。しかし、それ故「自律」自分を律することが皆さん一人ひとりに求められます。遅刻や他人への迷惑行為など、社会人になった時に、やってはいけない基本ルールが本校にもあります。皆が気持ちよく学校生活を送り、そして、皆さんの心身の安全を守ることも目的としています。今の社会では、企業などにおいても法律などの規則を守ることが、以前に比べて強く要請されています。これをコンプライアンスといいます。皆さんが本校で規則を守る習慣を身に付けることは、コンプライアンスのトレーニングとなり、社会に出てからも大いに役立つことと思います。

保護者の皆さま、私たち教職員一同お子様の教育に全力で取り組んで参る所存でございますが、お子様の着実な成長のためには、ご家庭と学校とが緊密に連携することが、極めて重要であると考えております。どうか本校の教育方針にご理解を頂き、ご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、新入生の皆さんの輝かしい成長とご列席の皆さまのご健勝を心からお祈り申し上げます、式辞といたします。

平成27年4月8日

大阪府立桃谷高等学校 校長 岩崎 判二